

2018(平成30)事業年度

決 算 報 告 書

自:2018(平成30)年4月 1日

至:2019(平成31)年3月31日

国立大学法人鹿屋体育大学

(様式2-1)

2018(平成30)事業年度 決算報告書

国立大学法人鹿屋体育大学
(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	1,528	1,449	△79	(注1)
施設整備費補助金	235	196	△39	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	16	19	3	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	17	17	—	
自己収入	560	560	0	
授業料、入学料及び検定料収入	513	507	△6	(注4)
附属病院収入	—	—	—	
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	47	53	6	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	120	140	20	(注6)
引当金取崩	—	—	—	
長期借入金収入	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
前中期目標期間繰越積立金取崩	8	—	△8	(注7)
目的積立金取崩	53	23	△30	(注8)
計	2,537	2,404	△133	
支出				
業務費	2,148	1,937	△211	
教育研究経費	2,148	1,937	△211	(注9)
診療経費	—	—	—	
施設整備費	252	213	△39	(注10)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	16	18	2	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	120	133	13	(注12)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	—	—	—	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	—	—	
計	2,537	2,301	△236	
収入-支出	—	103	103	

※記載金額は百万円単位とし、表示単位未満は四捨五入して表示

○ 予算と決算の差異について

※記載金額は百万円単位とし、表示単位未満は四捨五入して表示

(注 1) 運営費交付金については、主として退職手当を繰り越したため、予算額に比して決算額が 79 百万円少額となっています。

(注 2) 施設整備費補助金については、主として計画変更による減額があり、予算額に比して決算額が39百万円少額となっています。

(注 3) 補助金等収入については、主として計画変更による増額があり、予算額に比して決算額が3百万円多額となっています。

(注 4) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として授業料収入の減により、予算額に比して決算額が6百万円少額となっています。

(注 5) 雑収入については、主として講習料収入及び自動販売機手数料収入の増により、予算額に比して決算額が 6 百万円多額となっています。

(注 6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、外部資金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が 20 百万円多額となっています。

(注 7) 前中期目標期間繰越積立金取崩については、主として計画変更により取り崩しがなく、予算額に比して決算額が 8 百万円少額となっています。

(注 8) 目的積立金取崩については、主として計画変更による減額があり、予算額に比して決算額が 30 百万円少額となっています。

(注 9) 教育研究経費については、主として経費節減に努めたことにより、予算額に比して決算額が、211 百万円少額となっています。

(注 10) 施設整備費については、(注 2) に示した理由により、予算額に比して決算額が39百万円少額となっています。

(注 11) 補助金等については、(注 3) に示した理由により、予算額に比して決算額が 2 百万円多額となっています。

(注 12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注 6) に示した理由により、予算額に比して決算額が 13 百万円多額となっています。